

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)		乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・年度末、雪解け、入学、就職時期を迎え、5月までは業界的に活発な動きとなる。今冬の暖冬や小雪による季節商材の低迷を補うことが出来るか心配である。
		観光型ホテル (支配人)	来客数の動き	・1月までは雪不足によりスキー客が少なく苦戦を強いられたが、シーズン後半には雪も降り、巻き返しができています。
		都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・前年比で宿泊客数、売上共に増加している。
		遊園地(職員)	来客数の動き	・来園客数は前年を大きく上回っているものの、3か月前と比べると伸び幅が減少している。
		ゴルフ場(経営者)	来客数の動き	・雪国のゴルフシーズンが開幕し、入場客の推移は好調である。団塊世代以上の元気な客がいるので、あと数年は持続できるとみている。自助努力によって、未来に備えるべく努力している最中である。
		商店街(代表者)	販売量の動き	・3月下旬に、新高校生の入試の合格発表、オリエンテーションがあり、学販の集計等をしているが、今年も前年とほぼ変わらないくらいの注文が入り、ほっとしている。
		一般小売店[家電](経営者)	お客様の様子	・消費税再増税の話題は始めているが、直接の売上には結び付かない。商品の値上げも話には出るが、客は必要でない物への出費は控えている。
		衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・客足も少なく、話にならない。
		乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・僅かながら、消費税再増税前の駆け込みとみられる新車の受注が増えてきている。
		乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・車検、一般整備は目標金額、在庫台数共に上回り、新車購入等の話も増加している。ただし、契約までは相変わらず時間が掛かっている。
		一般レストラン(経営者)	競争相手の様子	・歓送迎会の時期、大手ホテル等は好調との話もあるが、個店ではそれほど話もない。
		観光型旅館(経営者)	販売量の動き	・3月は、天候が良くなり春休みや同級会の需要などが増えるはずだが、今年はそうした動きが少ない。特に土曜日の入込が悪く、売上が伸びない。
		タクシー運転手	販売量の動き	・夜の動きが悪いと単価が悪くなるので、1日の売上は落ちる。
		通信会社(経営者)	お客様の様子	・同業他社の進出や営業強化等で、乗換えの保留や解約が増加しており、厳しい状況である。
		ゴルフ場(経営者)	単価の動き	・この冬は降雪も少なく、例年になくクローズが少なかった。ただし、平日の客単価は低く、来場者は伸びたものの、売上は微増となっている。
		その他サービス[葬祭業](経営者)	お客様の様子	・暖かくなってきて季節の変わり目が過ぎ、一段落したというところである。
		設計事務所(経営者)	来客数の動き	・忙しい状態が続いている。
		商店街(代表者)	販売量の動き	・人の動きが少ないと感じる。特に、客の買上点数が少なく財布のひもが固くなっている。
		スーパー(経営者)	来客数の動き	・天候が良く、来客数は安定しているが、買上点数は減少している。
		スーパー(経営者)	競争相手の様子	・野菜価格の下落が響いている。
	スーパー(経営者)	それ以外	・今月中旬、配送業者から値上げの要請を受けた。長野から東京へ、12キロのリンゴを送るのに、今までは940円だったが、今後は1,815円になり、もう1社の配送業者は1,477円とのことである。弁当を入れる段ボールや牛乳も値上げと、値上げ品が多い。消費税が10%になった時点で、弁当容器やご飯の量等の見直しを行いたい。	
	コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・10月の消費税再増税を前に活気付くと思っていたが、消費自体は冷え込んでおり、攻めた経営ができない状況である。	

	コンビニ（店長）	お客様の様子	・同業他店が出店して1年が経ったが、前年同月比でみても、若干落ち込みがあるので、多少景気が悪いのではないかと。
	家電量販店（店長）	来客数の動き	・前年に比べて1割ほど、来客数が減っている。
	自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・買換えサイクルが格段に伸びており、下取り額を増額しても来客数は伸びない。セール時の来客数も減っている。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・歓送迎会シーズンだが宴会の動きが低調である。フリーの客も少なく、客単価も良くない。前年と比べると、はっきりと悪い。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・低価格が売りのランチの売上、来店客がここ数か月横ばいである。高単価なディナーの売上及び来店客は、ここ2～3か月、前年同時期割れで、下がっている。
	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・一般企業の旅行や出張が減少している。中国と米国の情勢悪化により、輸出関連企業の先行き懸念から、動きが鈍い。個人需要は平年並みであるものの、比較的安近短の旅行地の要望が多い。全体的には悪くなっている。
	× 商店街（代表者）	来客数の動き	・天候の影響も多少はあるにしても、人出の少なさは目を覆うばかりである。当然売上も全く伸びない。客が必要に迫られて来店し購入する以外は、ほとんど売上もない。
	× スナック（経営者）	競争相手の様子	・客の様子などいろいろな点からみて悪くなっている。とにかく競争相手がどうなっているか、様子を知りたい。
企業動向関連 (甲信越)	-	-	-
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社の受注量は増えている。
	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・景気のやや悪い状況が、変わらずに続いている。
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・紙代の値上げを販売価格に転嫁できないので、厳しい状況である。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・中国人来店客による一部店頭販売商材の売上が、増加傾向である。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・暖冬により、人々の動きが活発になってきている。年度末で、工事の成約も増えている。
	食料品製造業（製造担当）	取引先の様子	・新規スーパーの参入で、安売りが始まっている。しばらくは客の流れが変わる。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業を中心に、米中貿易摩擦の影響が生じ始めている企業が増えている。
	金融業（経営企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・業種別に違いはあるが、製造業の景況感が特に悪化している。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・販売量が変わらない、あるいは微減しているなか、人手不足が続いている。さらに、紙媒体での広告出稿が減少し、前年実績を下回っている。
	× その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・3月ということで、小売向けの展示会が幾つか開催されたが、いずれも来場者、売上共に大幅に減少している。ただし、来場者のなかには消費税増税を前に「買うなら早めの方が良い」といった増税を意識した発言もあった。中国向けは低価格品に動きがあるが、中価格帯～高額品の動きは低調である。
雇用関連 (甲信越)	-	-	-
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・3か月前から新規求人数が増加傾向にあり、有効求人倍率も0.03ポイント上昇している。製造業の一部、半導体製造装置関連では弱い動きが見られるものの、自動車部品関連企業からは「堅調に推移している」との声が聞かれる。
	人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・相変わらず、ハローワーク経由も含めて求職活動は苦戦している。ハローワーク経由では、1企業に平均15名が応募しており、決まらない方が大半である。正社員を目指す方が多く、派遣業界も人が集まらない状況で、購買意欲が湧くはずがない。

	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・製造業の人手不足が深刻で、今までは求人誌など共同広告での募集が多かったが、最近、単独で新聞の折込チラシを出して募集する企業が目立っている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人は、新規出店等による求人が少なかったことに、更新時期のずれも重なり、前年比7.5%減少している。暖冬の影響も業種によって明暗を分けている。求職者は2.3%減少し、在職者の割合が増加傾向にある。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数は前年7月より高水準を維持している。有効求職者数の動きに変化はみられない。
	*	*	*
x	-	-	-